

寅さん歩 その26

東京の主要道路の起点～終点

柴又街道ー1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」、「海岸通り」、「清洲橋通り」、「井ノ頭通り」、「葛西橋通り」、「中野通り」、「平和橋通り」、「大久保通り」、「蔵前橋通り」、「道灌山通り」、「川の手通り」、「自由通り」、「丸八通り」、「新目白通り」、「ゆりのき橋通り」、「方南通り」と歩いてきました。

今回は「柴又街道」を歩きます。柴又街道は葛飾区金町の水戸街道の金町三丁目交差点を起点に、映画「男はつらいよ」の寅さんの故郷 柴又を通り、江戸川区の都道450号線の旧江戸川堤防手前の交差点に至る延長約10kmの道です。写真右上は柴又街道の道路名標識（都道307号線）です。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。

最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[金町三丁目交差点] 葛飾区金町三丁目

最寄駅 京成金町線 京成金町駅

京成金町町駅の近くには東京メトロ千代田線・JR常磐線の金町駅があります。

水戸街道（国道 6 号線）の金町三丁目交差点（写真下左）が柴又街道の起点です。脇には京成金町線が通っています（写真下右）。京成金町線は京成金町駅・柴又駅・京成高砂駅の 3 駅の京成電鉄の鉄道路線です。



[金町浄水場・良観寺] 葛飾区金町浄水場・柴又三丁目

最寄駅 京成金町線 京成金町駅

左側に東京都水道局金町浄水場（写真下左）があります。1926 年（大正 15 年）8 月から近くを流れる江戸川の表流水を取水、（平成 4 年）都内初の高度浄水処理を導入し、都内 12 区に「おいしい東京の水」を供給しています。



写真上右は京成金町線を挟んで金町浄水場の前にある良観寺です。創建年代は不明ですが江戸時代初期には存在したと伝わる真言宗豊山派のお寺です、柴又七福神の布袋様です。HP表紙の [IVV-JAPAN](#) からリンクできる日本市民スポーツ連盟のHP掲載の「平野寅次郎のYR散歩 N.39 北コース（柴又七福神巡り）」をご覧ください。

[柴又帝釈天] 葛飾区柴又三丁目/七丁目

最寄駅 京成金町線 柴又駅

柴又街道の目玉のひとつである映画「男はつらいよ」の寅さんの故郷 柴又に到着です。柴又街道から左へ向かう道は柴又帝釈天参道（写真下左）で奥には柴又帝釈天（写真下右）があります。寅さんの実家は参道にある団子屋です。



柴又街道から右の道（写真下左）は柴又駅に向かいます。駅前には旅に出る寅さんと見送る妹 さくらの像（写真下右）があります。



今回は柴又駅には立ち寄りませんので、寅さん歩 351 東京の博物館めぐりー38 葛飾区ー1 及び寅さん歩 130 東京にこんなところー4 をご覧ください。

[北総鉄道 新柴又駅]

葛飾区柴又五丁目

最寄駅 北総鉄道 新柴又駅

柴又街道を進むと前方に北総鉄道 新柴又駅と書かれたガード（写真下左）がありました。写真下右は新柴又駅への上り口です。

北総鉄道は千葉ニュータウンの建設に伴い 1972 年（昭和 47 年）に設立された京成グループの企業が運営する鉄道です。京成電鉄が筆頭株主で千葉県や松戸市など沿線の地方公共団体や都市開発機構（UR）が出資しています。葛飾区の京成高砂駅から千葉ニュータウン中央駅を経由して印旛日本医大駅です。さらに 2010 年には京成電鉄の成田スカイアクセス線がつながっています。



[旧佐倉街道・蓮華寺]

葛飾区鎌倉三丁目

最寄駅 北総鉄道 新柴又駅

次の交差点の右隅に「旧佐倉街道の石柱」（写真下左）がありました。江戸から佐倉へ通じる街道と表示があります。右角には蓮華寺（写真下右）があります。蓮華寺は佛立宗のお寺とのことです。



[鎌倉八幡神社] 葛飾区鎌倉四丁目 最寄駅 北総鉄道 新柴又駅

鎌倉交差点の左に鎌倉八幡神社の鳥居（写真下左）中に入ると社殿（写真下右）です。寛永年間(1624～1644年)の創建、相模国鎌倉郡出身の源右衛門という人物がこの地を開拓し氏神として鎌倉八幡宮の分霊を勧請したと伝わるとのこと。地名の鎌倉もこの故事に由来しているそうです。



この先、京成本線の線路を越えると江戸川区に入り、左側が京成小岩駅です。京成本線は東京都台東区京成上野駅と千葉県成田市の成田空港駅を結ぶ京成電鉄の鉄道路線です。

今回はここまでとします。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年（令和3年）9月から歩きました。寅さん歩 379 令和3年10月から掲載済です。

今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。現在やこれから東海五十三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。

2023年8月8日、お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、2023年11月13日浜松宿（現在の静岡県浜松市中区）（江戸日本橋から252km）に到着しました。

各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。
各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。

天竜川を渡ると浜松です。浜松側に船着き場跡があるので船で渡ったようです。



写真左は「濱松 冬枯ノ図」です。立ち上るたき火と大木を画面の中央に配し、その周りに集う人々を描いています。背景には浜松城、その手前には「ざざんぎの松」と呼ばれた浜松名所の松林があります。

浜松名物といえば、やはり「うなぎ」（写真下左）、最近では宇都宮に並ぶ「餃子」（写真下右）が加わりました。



写真左は名物のうまいもの「浜納豆」です。大豆を発酵させ、しょうゆ、ショウガ、サンショウなどで味付けしたものです。味噌に似た味でおつまみ、お茶漬けによしです。家康公も「滋養があり保存がきき携帯できる」と好んだと伝わります。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝